

資源物中間処理施設 NEWS

No.1 創刊号
平成31年3月発行

平成31年4月1日に開所します



施設紹介

私たちには、限られた資源や環境を未来の世代に残すため、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減された社会「循環型社会」の構築が求められています。

市民生活から排出される廃棄物の中には、資源としてリサイクルできるプラスチック類が多く含まれています。

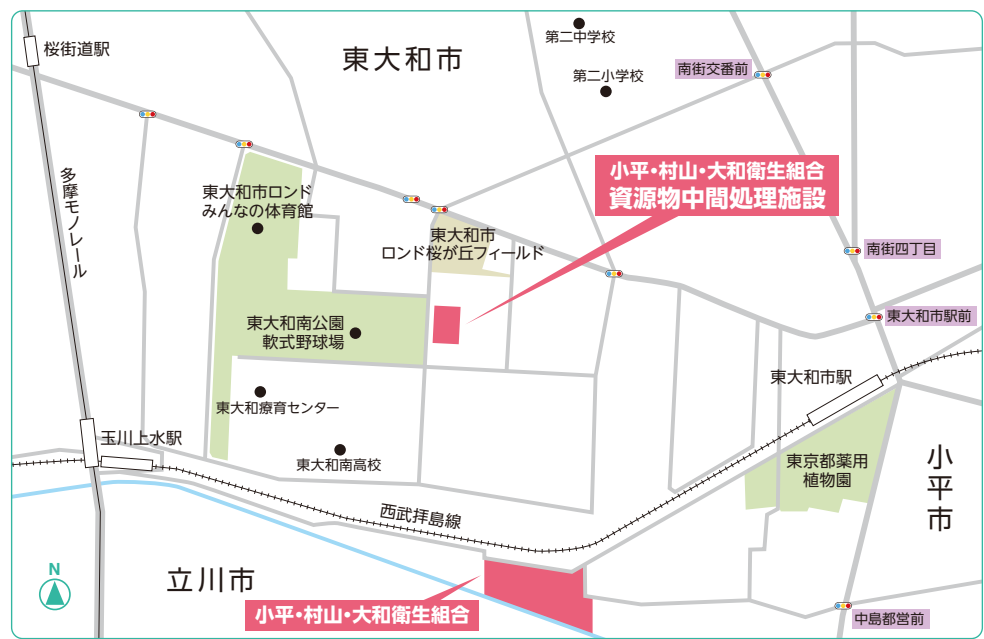
小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設は、小平市、東大和市、武蔵村山市、3市の家庭などから排出される廃棄物のうち、リサイクルできるペットボトルと容器包装プラスチックの、選別、圧縮、梱包及び保管を行う施設です。

また、資源の有効利用や資源循環の仕組みを学べる研修室などがあり、環境啓発活動も行える施設となっています。

「資源物中間処理施設」の3つの特徴

- 効率的な処理**
高性能比重差選別装置の導入により、手選別作業の負担軽減及び効率的な処理を可能としています。
- 天然資源の有効活用**
太陽光採光装置の設置や雨水を再利用するなど、天然資源の有効利用を図っています。
- 万全な環境対策**
選別、圧縮、梱包作業及び資源の保管は全て建屋内で行い、室内空気に含まれる粉じん、臭気及び揮発性有機化合物（VOC）は光触媒を活用するなど最新設備で処理しています。

施設案内図



小平・村山・大和衛生組合は、小平市、東大和市、武蔵村山市のプラスチック資源とごみを処理する工場を管理運営する一部事務組合（特別地方公共団体）です。

発行元 小平・村山・大和衛生組合
〒187-0033 小平市中島町2番1号
電話 042-341-4345 / F A X 042-343-5374
http://www.kmy-eiseikumiai.jp/

（施設の概要）

- 所在地：東京都東大和市桜が丘2丁目122番地の2
- 建設期間：平成30年1月～平成31年4月
- 竣工：平成31年4月30日
- 敷地面積：4311.64㎡
- 建築面積：1878.95㎡（地上3階建て（最高の高さ21.87m））
- 施設規模：容器包装プラスチック系列 17.0t/日（5h）
ペットボトル系列 6.0t/日（5h）

- 受入設備：ピット アンド クレーン方式
- 破袋設備：自動機械破袋
- 選別設備：自動機械選別 手選別
- 搬送設備：コンベヤ方式
- 貯留・搬出設備：フィルム+PPバンド掛け圧縮梱包方式
- 集塵・脱臭設備：サイクロン、バグフィルタ、活性炭脱臭方式、光触媒方式（圧縮梱包部）
- 給水設備：上水
- 排水設備：下水放流

敷地配置計画図



第1回 資源物中間処理施設運営連絡会 議事要録

日時：平成30年12月15日（土） 午前10時から午前11時50分
場所：小平・村山・大和衛生組合 4・5号ごみ焼却施設 3階大会議室

※運営連絡会とは…周辺地域住民と小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設の運営について、相互の意見交換及び連絡調整を図ることを目的として設置しました。
※対象団体…事業用地から半径200メートル及び桜街道以南で搬入搬出車両が通る道路を生活道としている自治会及びマンション管理組合。
現在、対象団体9団体のうち、5団体9名の方に参加いただいています。

- 1 開会
- 2 自己紹介

- 3 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会について
※事務局（計画課長）が運営連絡会の趣旨及び要綱の説明。
【確認事項】
・構成員は団体を代表して参加しているので、各自治会やマンション管理組合に運営連絡会の状況を伝えてほしい。
・会議録は要録とし、広報紙やホームページで公開していく。
・会議の開催は、3月・9月の年2回（定例会）とし、そのほか必要に応じて臨時会を開催していく。
・次回は3月23日（土）、施設の内覧も含めて開催する予定。
・第3回（臨時会）の開催を5月から6月に予定。環境測定結果を示す。

- 【結果】
以下4点を衛生組合側が提示。
①要綱に記載されている事項について調整が図られた結果については実施していく。
②VOCについては、見やすい場所に設置予定の電光掲示板に表示する。
③搬出後のルートについては、今後の運用の中で調整を予定している。また、収集車の搬入時間が集中しないよう、各市と調整していく。なお、警察との調整を再度行い、次回連絡会で報告できるように準備する。
④連絡会の運営に関しては、実際に会を進めながら改善していく。

- 【質疑等要旨】
・地域住民とともに組合職員も会員で、お互いに話し合うということなので、調整事項については確実に実施していただきたい。
・施設について、VOC、騒音、悪臭等の環境に変化をもたらすと考えられる要因については常に監視し、何かあった時には迅速に対応願いたい。
・廃棄物運搬車両について、搬出ルートの分散化を検討願いたい。
・今回の連絡会は翌3月中旬に開催予定ということだが、それまでに諸々の事柄が決定事項として進み、施設稼働開始となることが懸念される。特に、交通関係については警察に対し地域の要望を伝え調整願いたいので、可能であれば翌1月か2月に、その結果を示してもらうために、連絡会を開催していただきたい。
→（衛生組合）
・要綱に記載されている事項について調整が図られた結果については実施する。
・環境対策については、旧地域連絡協議会でも不安との意見が出ているので、規制はないが、VOCについては、見やすい場所に設置予定の電光掲示板に表示する。
・廃棄物運搬車両の搬入搬出ルートについては、“左折入場/左折退場”が基本であると警察から指導されている。ただ、搬出後のルートについては考慮の余地があると思われるので、今後の運用の中で調整することを考えている。また、収集車の搬入時間が集中しないように各市と調整していく。なお、警察との調整を再度行い、次回報告できるように準備する。
・連絡会の運営に関しては、実際に会を進めながら改善できる部分もあると考えている。

- 4 議題
○正・副会長選出
【結果】
・決定せず。次回へ持ち越し。今回出席者からは立候補者なし。

- 小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設について
資料「小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設について」により内容説明。
※プレゼンテーションソフトを併用
【結果】
・施設敷地内に待機スペースを設け、車両の公道待機回避対策を図る。
・制限速度遵守、清掃徹底により運搬車両の埃抑制対策を図る。
・要望に対して可能な限り費用を掛けた、環境対策も健康被害対策も万全な施設である。
・もし、環境に影響を及ぼすとされている物質の基準数値を超えた場合は、施設の稼働を停止し、“原因解明→改善確認”されるまで施設稼働させない。
・上記数値についての測定結果は様々な方法で公表する。
・上記数値をゼロに近づけることを目標とし、最も厳しい各種数値を準用する。
・施設引き渡しは、工期延長により、4月に延期される算が大。
・大気測定について、ブランクデータとの比較対応する。
・大気数値の測定頻度は、操業後の結果を考慮しながら決めていく。
・パッカー車の排ガス規制は、各市に伝え、厳守してもらう。
【質疑等要旨】
・警察と協議をすでにしているということは、通りが渋滞することについて考えているのか。我々が渋滞に巻き込まれることは避けてほしい。
・喘息のこともいっているので、車両通行による埃に対して対策をとってほしい。
・施設稼働して、子どもにアレルギーが出た場合は組合にも連絡した方が良いのか。
・この施設は予算ありきで整備したのか。
→（衛生組合）
・収集車両の台数は1日60台数。周辺への影響は軽微であると考えている。なお、車両の公道待機回避対策として、敷地奥（東側）に計量機を設置することで停車可能場所を設け、車両を敷地内に待機させ、公道に停滞しないようにする。
・組合は、健康被害の起こらない施設として自信をもって整備している。健康被害が起こったことが明確になったら、当场まで連絡いただきたい。
・環境については最高のレベルの設備を導入している。“予算ありき”ではない。

- ・VOC等基準を超えた場合はどのように考えているのか。操業をとめるのか。
- ・数値について電光掲示板で表示もいいが、運営連絡会で報告したり、組合ホームページに公表することで地域住民が誰でもみられる形にしてほしい。
→（衛生組合）
・基準を示して表示するという事は超えたら施設を止め対策しないと動かさないという意思表示でもある。
・測定結果は公表する。

- ・これだけ発生するだろうという数値は持っているのか。
- ・引き渡しは3月か。
→（衛生組合）
・基準以下で施設を運転することを条件に建設している。引き渡しの際の数値は示すことができる。仮に音など、基準値を超えていれば引き渡しは受けられないこととなる。
・引き渡しは、工事が遅れていて、4月になることも考えられるが、4月1日から施設の稼働は可能である。

- ・規制の件。騒音、悪臭は規制値があるのか。VOCの規制値の設定基準はなにか。
- ・放射能汚染でもそうだが、各種数値はあくまでもゼロに近づけていくというのが大事。
→（衛生組合）
・この種の施設に対して法定されている基準値はないが、有機溶剤等を採取う種類の工場には法定基準があるので、その基準の中で最も厳格に設定されている数値を準用する。各種数値を“ゼロ”に近づけるよう運転することは当然のことであると捉えている。

- ・連続測定で測れるものと測れないものがあるとのこと。その連続で測れないものについての測定頻度は。
- ・表示する際、ブランクデータとの比較があるとよい。一般的な大気との比較の対応を願いたい。
→（衛生組合）
・その測定頻度は、竣工後の検査結果をみて考えていきたい。
・ブランクデータとの比較については対応する。

- ・パッカー車の排ガスの規制を守らせるようお願いしたい。
→（衛生組合）
・承知した。

- 今後小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設運営連絡会の運営について
【結果】
・衛生組合側が会員からの要望や意見を聴き、それに対し説明・対応した。※詳細は以下「質疑等要旨」参照
【質疑等要旨】
・要綱については（案）としてほしい。要綱作成は、本来ならば行政と住民で作り上げるべきだと考える。
・参加者の中に構成市の職員は出てこないのか。
→（衛生組合）
・この連絡会は、要綱に賛同いただいた方に参加を依頼している。今回の範囲外の方でご意見があれば、お声掛けいただければ組合の担当職員で説明に向かわせていただく。
・「施設建設に必要な各種事務手続等の調整・決定」は4団体での調整事項だが、施設建設工事委託・運営は衛生組合の役割。そのため、施設の運営連絡会に構成市の職員を参加させる必然性はないと考えている。各市への意見があれば組合から伝える。

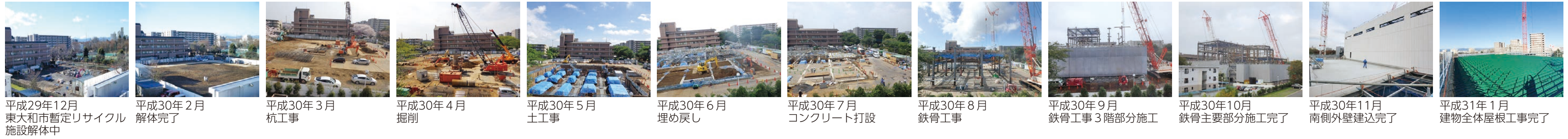
- ・地域連絡協議会への参加対象地域は、施設から約800mであった。運営連絡会の参加対象地域が縮小された理由は。
- ・今後、連絡会は桜が丘市民センターでやってほしい。
- ・“VOC”という一括りではなく、個々の物質について計測して欲しい。
- ・運営連絡会は、要望が確実に実行されれば良いので会議の形でなくても良いと考える。
- ・各市の資源物の回収基準が統一されないとおかしいで統一してほしい。
- ・一定の約束事を文書化するべきである。最終的に締結文書を作る考えはあるのか。
→（衛生組合）
・800mは、地域連絡協議会の説明会の中でいただいた意見を尊重して決定した。運営連絡会の参加対象範囲は、処理施設を景観上目視できる範囲という点を優先し設定した。目視できる場所にあるごみ処理施設で、何をやっているか分からないのは当然不安であるだろうと考えたためである。また、車両が増える事は事実なので、そこを生活道としているであろう地域ということと、中島町の連絡協議会と同条件の範囲ということで、設定した。
・環境測定は、個々の物質の測定も行う予定である。

- ・交通は桜街道全体にも及びるのでそこも範囲に入れるべきでは。
→（衛生組合）
・桜街道は、何万台/日という車両が通行している。収集車両が影響を及ぼすとは考えていない。衛生組合としては、近隣の方の心配を解消していきたい。

- ・中島町の連絡協議会に入れてほしい。
→（衛生組合）
・中島町の連絡協議会には意見を伝えたが、了解は得られなかった。

- 5 閉会

資源物中間処理施設の工事経過



平成29年12月 東大和市暫定リサイクル施設解体中
 平成30年2月 解体完了
 平成30年3月 杭工事
 平成30年4月 掘削
 平成30年5月 土工事
 平成30年6月 埋め戻し
 平成30年7月 コンクリート打設
 平成30年8月 鉄骨工事
 平成30年9月 鉄骨工事 3階部分施工
 平成30年10月 鉄骨主要部分施工完了
 平成30年11月 南側外壁建込完了
 平成31年1月 建物全体屋根工事完了

平成30年8月～9月

○鉄骨を組みました。



○2階部分の鉄骨を施工しています。

平成30年10月～

▽機械据付け工事と配筋工事



機械を入れています。
 容器包装プラスチック圧縮梱包機の部品を据付しています。
 据付は天井開口部から、クレーンで吊り下げて行いました。
 ※容器包装プラスチック・シャンプーや弁当の容器、せんべいやお菓子の包装でプラスチック製のもの。

▽配筋工事

3階手選別作業室の床の鉄筋を取り付けています。



平成30年11月～

□機械基礎の型枠の解体、機械設置



3階手選別室のコンクリート打設が完了し、床が完成。その上に設置する機械の基礎型枠の解体を行っています。



□手選別コンベヤの設置

手選別コンベヤを設置しています。コンベヤは分割し、屋上開口部から吊り込み、設置場所で組み立てます。
 ※写真上部中央のオレンジ色のものは、このコンベヤを吊り上げているクレーンのフックです。



平成30年12月～

◇出口計量機の設置 平成30年12月13日



資源物収集車両の重量を量る出口計量機を設置しています。



◇供給コンベヤ・比重差選別機の設置

容器包装プラスチックを設備に供給するコンベヤと比重差選別機の設置が完了しました。
 ※比重差選別機：搬入された容器包装プラスチックを軽量物と重量物に選別し、手選別作業を効率的に行うために導入した装置



◇資源物投入扉の設置 平成30年12月20日

資源物ピットとプラットフォームを仕切る投入扉を設置しました。
 ※資源物ピット：資源物を一時貯留する槽（穴）
 プラットホーム：収集車が資源物を投入する場所（屋内）